

平成22年度 天竜川水系 此田地すべりA-1ブロック対策工事

この工事は、前回施工した増打ちボーリング6カ所に続き、既に計画されていた工事で工所用仮設道路を作り新規の集水井(WA-28)を1カ所、集水ボーリング2段、更に増打ち集水ボーリングを3カ所施工するための工事です。

工所用道路

仮設工(工所用道路)は、急斜面に伴い湧水が非常に多く施工に苦勞しました。特に9月2~4日の大雨、又9月19~21日の台風15号に伴う大雨で湧水が非常に多くなり対応及び処理に苦勞しました。



工所用道路 着手前



工所用道路 大型土のう設置状況



工所用道路 完成



WA-7集水井 クレーンヤード完成

この工事は、飯田市南信濃此田地先において昭和62年から地すべり指定区域として施工されてきました。その後、水位・ひずみ等の調査を進められてきました。その結果、地すべり対策としては現在の所、地下水の水位は低下しているものの、更なる地下水の低下を目指して施工される工事です。

工所用道路が完成し、集水井工の掘削及び残土処理を行っています。掘削の進行に沿って増打ち集水ボーリングを順次施工する予定です。



WA-28 集水井
ライナプレート組立完了



WA-28 集水井
根巻きコンクリート



この上にライナプレート
を2枚組み立てます。

WA-28 集水井
根巻きコンクリート施工完了



集水井掘削状況

集水井は、直径3.50mあり、深さ41.5mまで掘り下げます。



集水井内 掘削状況

集水井あたり取り掘削は酸欠防止のために電動式のミニバックにて施工します。

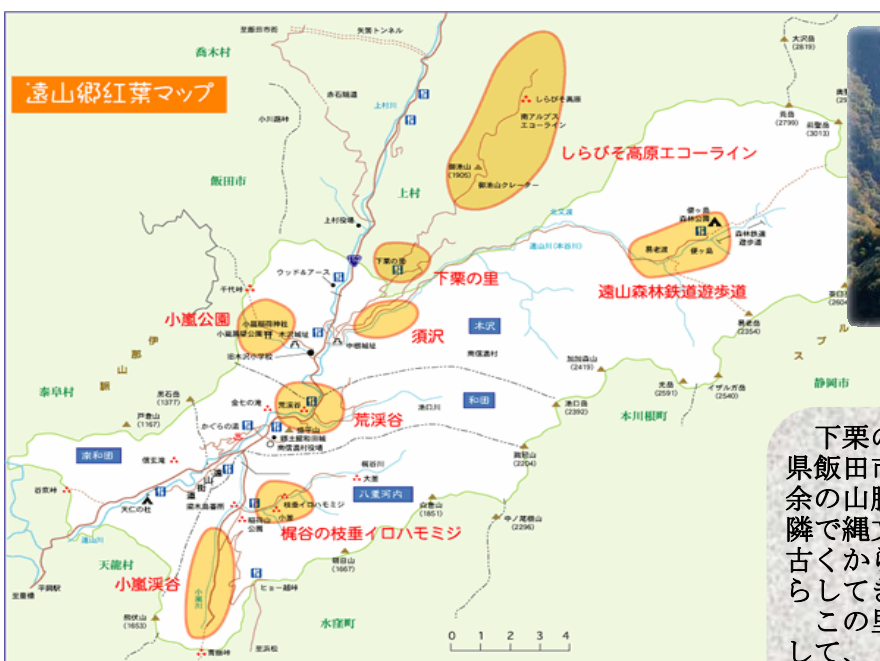
電動
ミニバック



ライナプレート組立状況

集水井あたり取り掘削完了後、ラーナプレートを組み立てていきます。

10月から11月上旬に紅葉が各地で見られます。



引越のサカイの
CMIに出ている景
色です。

下栗の里は、南アルプスを望む長野県飯田市上村にあります。傾斜30度余の山腹を切り開いたこの土地は、近隣で縄文時代の土器が出土するなど、古くから自然の恵みを求めて人々が暮らしてきた場所です。この里は、日本の原風景が残る地として、「日本のチロル」と呼ばれています。

毎年10月の第4日曜日。静岡と長野の県境をかけて、紅葉の兵越峠で「峠の国盗り綱引き合戦」が行われます。信州軍は飯田市南信濃、遠州軍は静岡県浜松市水窪町から、両町村の商工会青年部の精鋭10人ずつが対戦し、勝った方が1メートル県境を相手方に移動できます。ユニークな村おこし行事として、全国的にも有名になったお祭りです。

■日程/毎年10月の第4日曜日 ■場所/兵越峠(ヒョー越峠)



峠の国盗り綱引き合戦